

ふくしま 授産事業振興会だより

第23号

平成23年10月発行
(発行者)福島県授産事業振興会
授産事業支援センター
<http://www.f-jusan.jp>

〒960-8141 福島市渡利字七社宮111番地 TEL 024-523-1414 FAX 024-523-1432 E-mail: info@f-jusan.jp

事業所の再生を目指して・がんばっぺふくしま!!

福島県授産事業振興会
会長 高村 トミ子

この度の東日本を襲った大地震や巨大津波により被災された会員の皆様、そして原子力発電所事故で避難を余儀なくされた会員の皆様には心よりお見舞いを申し上げます。

あれからすでに半年が経過しました。皆様には元の事業所に戻れましたか。

皆様もご承知のとおり、相双地区は原発事故による避難区域を除き避難準備区域も放射能汚染を心配しながらも元の土地や別な場所でようやく事業所を再開したところもあります。一方、帰れる場所もなく県外に避難したまま収束するのを待ち望んでいる事業所もあります。

大震災時には相双地区は障がい者を抱え、逃げるにも逃げられない家族が多く、食糧や物資が手に入らないなど生活に困窮したり、また、事業所が開けないなどと大部分がどうしてよいのか分からず右往左往の大混乱が続きました。

その状況の中で、全国から多くの励ましや物資など支援の手が差し伸べられ、これを糧に必死で障がい者を守り、日中活動の場の確保に頑張ったところもありました。

未曾有の大震災から時間の経過とともに落ち着きを取り戻しつつありますが、今度は未だ経験したことのない放射能の見えない恐怖にさらされているのが現状です。今、福島県は地震、津波、原発事故、風評被害の四重苦を背負って生活しています。その苦悩は計り知れないものがありますが、いつまでも引きずることなく再生を図らなければなりません。

当会は、被災した事業所の再建に向けて、専門家による個別相談事業に取り組んで一日も早く元の事業所に戻れるよう支援を行っております。

また、大震災により販売機会の減少と原発事故による風評被害が暗く立ちこめている事業所を手助けしようと全国から支援の手が差し伸べられています。北は北海道から南は沖縄まで“福島県を応援しよう”と全国で支援販売会が行われており、全国の強い絆を感じるとともに、多くの人の温かい支援に感謝の気持ちで一杯です。

今後ともこの試練に打ち勝って、県内の施設・事業所が手を取り合い利用者の工賃向上を目指して支え合い、協力し合って邁進して行こうではありませんか。がんばっぺふくしま!!

最後に、会員の皆様には大変ご心配をおかけしました授産品直売所が、7月7日に福島駅前に“チャレンジショップふくふく”として新装オープンいたしました。会員の皆さんで育て支援してくださることを切にお願いいたします。

第17回福島県授産事業振興会通常総会について

平成23年5月31日（火）に福島市の福島県青少年会館において、第17回福島県授産事業振興会通常総会が開催されました。総会には、会員95名（委任状を含む）が出席し、開会に先立ち、3月11日に発生した東日本大震災により犠牲になられた皆様に全員で黙祷を捧げご冥福をお祈りいたしました。

古川副会長の開会のことばの後、高村会長のあいさつ、来賓祝辞、来賓紹介を行った後、武田秀則氏（福島おおなみ学園長）を議長に選出して議事が進められ、いずれも原案のとおり可決承認されました。

本総会の提出議案は次のとおりです。

- | | |
|--------|--|
| 報告第1号 | 東日本大震災による会員施設の被害状況について |
| 報告第2号 | 東日本大震災による被災施設への支援・義援金の活用について |
| 報告第3号 | 福島県授産品直売所負債額返済計画の変更について |
| 議案第1号 | 平成22年度一般会計事業報告書及び収入支出決算書について |
| 議案第2号 | 平成22年度障がい者工賃向上支援事業報告書及び収入支出決算書について |
| 議案第3号 | 平成22年度共同受注マッチングセンター事業報告書及び収入支出決算書について |
| 議案第4号 | 平成22年度授産品直売所事業報告書及び収入支出決算書について |
| 議案第5号 | 平成23年度一般会計事業計画書及び収入支出予算書（案）について |
| 議案第6号 | 平成23年度障がい者工賃水準底上げ事業計画書及び収入支出予算書（案）について |
| 議案第7号 | 平成23年度共同受注マッチングセンター事業計画書及び収入支出予算書（案）について |
| 議案第8号 | 平成23年度授産品直売所事業計画書及び収入支出予算書（案）について |
| 議案第9号 | 平成23年度福島県授産事業振興会定款の一部改正（案）について |
| 議案第10号 | 福島県授産事業振興会会員規程の一部改正（案）について |
| 議案第11号 | 福島県授産事業振興会役員の改選について |



（総会）



（総会）



（左から 菊地副会長・三浦副会長
高村会長・添田副会長）

本総会での主な内容は次のとおりです。

- ・定款の一部改正は、福島県授産事業振興会の事務所の所在地を定める規定で、入居していた県庁東分庁舎が、今回の地震により被災し立ち入り禁止となったために、県総合社会福祉センター1階（福島市渡利）に移転したための改正です。

- ・福島県授産事業振興会会員規程の一部改正は、東日本大震災で被災された会員の年会費を軽減するためにあらたに会費の免除規定を設けるための改正です。

- ・福島県授産事業振興会役員改選は、2年間の任期が満了するため新役員を選任いたしました。新役員は次のとおりです。

福島県授産事業振興会役員名簿

任期 平成23年6月9日～平成25年6月8日(2年間)

役職名	氏名	所属(役職)名	役職名	氏名	所属(役職)名
会長	高村 トミ子	福島県福祉作業所・事業所連絡協議会会長	理事	高久 由美	NPO法人ひびきの会 ワークショップろんど所長
副会長	三浦 正一	NPO法人ひろせ理事長	理事	黒津 堅一郎	青松苑苑長
副会長	添田 浩	福島県矢吹しらうめ荘園長	理事	片野 千恵子	郡山市授産センター緑豊園 園長
副会長	菊地 洋子	自立サポートセンター桜 所長	理事	木目沢 善重	NPO法人みんなのまーち理事長
理事	稲村 忠衛	福島県保健福祉部 障がい福祉課長	理事	星 佳代子	障がい者福祉サービス 事業所コパン施設長
理事	大川原 公年	福島県社会福祉協議会 事務局長	理事	佐川 健一	いわき学園施設長
理事	武田 秀則	福島県社会福祉協議会 障がい児者福祉施設協議会	理事	郡 信子	自立研修所ピーンズ所長
理事	堀 謙治	福島県身体障がい者 福祉協会会長	理事	佐藤 政雄	学識経験者
理事	照山 成信	福島県手をつなぐ親の会 連合会会長	監事	佐藤 俊元	あだち共労育成園園長
理事	古川 彰彦	福島県知的障害施設 協会会長	監事	千葉 正年	ゆうゆうハウス代表
理事	相澤 與一	福島県精神保健福祉会 連合会つばさ会会長	監事	磯部 俊克	福祉サービス事業所 かがやき所長
理事	高橋 清子	福島就業支援ネット ワーク代表理事			



新運営委員の紹介

平成23年度第1回福島県授産事業振興会・授産事業支援センター運営委員会が9月1日(木)福島県総合社会福祉センター第3研修室において開催されました。

委員の任期満了により、新しく運営委員に委嘱された15名の方に高村会長から一人ひとりに委嘱状が交付されました。

議題では、はじめに委員長・副委員長を選任し、次いで、専門部会の構成と各部会長の選任を行いました。事業計画については、生産技術講習会の開催、新製品(商品)開発コンクールの開催、授産施設関係職員等研修会の実施について説明があり意見交換が行われました。

なお、新しく運営委員に委嘱された方は、次のとおりです。

任期 平成23年7月1日～平成25年6月30日(2年間)

部会名	県北	県中・県南	会津	浜
販売促進	菅野 智子 (ワークショップろんど) 加藤 敏子 (ワークセンター歩)	菅野 和典 (でんでんむし) 岡部 早苗 (Sweet hot)	増井 多恵 (障がい福祉サービス 事業所コパン)	★野木 祐樹 (いわき学園)
広報	★宮下 金一郎 (青松苑)	○木目沢 秀吾 (NPO法人みんなの まーち)	小沼 琢弥 (共働作業所ピーターパン)	大竹 恵子 (なこそ授産所)
商品開発	★渡辺 景子 (太陽学園) 穴戸 昌子 (共同作業所ばけっと)	◎安藤 敏子 (工房トマトハウス)	小椋 厚子 (ゆうゆうハウス)	郡 信子 (自立研修所ピーンズ)

注 ◎は運営委員長、○は運営副委員長、★は部会長



(高村会長より委嘱状交付)



(運営委員会)

受託事業の紹介

当振興会では、今年度も福島県から障がい者の工賃向上を図るための事業を受託して実施しております。受託事業3件の概要を紹介します。

✿ 障がい者工賃水準底上げ事業 ～震災復旧支援ほか各種相談に応じます。～

県から受託してきた「障がい者工賃向上支援事業」が平成22年度で終了し、今年度、これまでの事業内容を一部リニューアル化して事業名を変えて継続することになりました。大震災の影響で事業内容が縮小されましたが、経営相談員を2名配置して震災復旧支援を重点に各種相談活動に取り組んでいます。

- ・ 経営相談員派遣による経営改善ワークショップの実施
- ・ 経営相談員による施設が抱える企業的経営に関する個別相談の実施



(立島 孝 経営相談員)



(菅野 覚 経営相談員)

✿ 共同受注マッチングセンター事業 ～あなたの施設の応援団引き受けます。～

県内5圏域の福祉法人等にそれぞれ企業開拓推進員を配置して、一般企業、団体・個人などあらゆるところを開拓して授産品や仕事の注文をとってきます。相双圏域は、震災・原発事故のため、当振興会に配置して相双圏域の施設や避難施設の情報収集、復興の支援協力にあたっています。

○ 企業開拓推進員の配置先と氏名

・ 県 北	社会福祉法人つばさ福祉会	福島市	名越	正家
・ 県 中	社会福祉法人ほっと福祉記念会	郡山市	吉田	英明
・ 県 南	社会福祉法人福島県社会福祉事業団	白河市	大平	精一
・ 会 津	特定非営利活動法人真桜会桜の家	会津坂下町	白井	一恵
・ いわき	社会福祉法人いわき福音協会	いわき市	芳賀	一仁
・ 相 双	福島県授産事業振興会	福島市	児玉	福男

○ マッチングセンター事務局（福島県授産事業振興会）

- ・ センター長 一條 直美
- ・ 授産事業推進員 柄窪 喜美子

<応援団のメンバー>

後列左から 芳賀・吉田・大平・児玉

前列左から 白井・一條・名越



✿ 授産品直売所事業 ～福島駅前ツイン広場に移転しました。～

昨年福島市御山地区に開店しました直売所を、本年7月7日に福島駅前に移転して「チャレンジショップふくふく」としてあらたに開店しました。店の愛称は県内の施設から募集しました中から、なのはなの家（福島市）の久保千恵さんの「チャレンジショップ」とぼけっと（福島市）の宍戸昌子さんの「ふくふく」を合作して決定しました。「障がいのある方が障がいに負けずにいろんなことにチャレンジしているお店」と「福島の福と幸福の福」をイメージして、まさにこの店のコンセプトと理念を現しています。小さなお店ですが、皆様の温かいご支援をお願いいたします。



(開店テープカット)



(店舗愛称募集表彰式 久保さん・宍戸さん)



(店内風景)

東日本大震災で義援金をいただきました。

3月11日に発生した東日本大震災により被災された施設に対して次の団体等から義援金をいただきました。温かいご支援に心より感謝申し上げます。

4月21日	NPO法人夢・同人 様 (滋賀県)	20万円
	びわこ夢王国 様 (滋賀県)	5万円
6月2日	地域活動支援センターなのはなの家 様 (福島市)	18千円
7月6日	社会福祉法人復泉会くるみ共同作業所 様 (静岡県)	5万円
7月8日	スペインロータリークラブ	30万円
	藤井 浩 様 (スペイン在住、ギタリスト)	
	国際ロータリー第2530地区 (福島県) ガバナー	
	大橋 廣治 様 (福島南ロータリークラブ)	
		計 618千円



(NPO法人夢・同人様)



(スペインロータリークラブ様)

○ 配分先は次のとおり

施設名	所在地	金額 (円)	施設名	所在地	金額 (円)
ほっと悠	南相馬市	57,000	フルクテン夏井	いわき市	57,000
自立研修所ビーンズ	南相馬市	57,000	虹のかけはし	いわき市	57,000
いっぽいっぽあさがお	南相馬市	57,000	セルプかえで	川俣町	25,000
アクセスホームさくら	浪江町	57,000	めぐみ	川俣町	25,000
ワークセンターさくら	富岡町	57,000	ぼたん作業所	須賀川市	25,000
原町共生授産園	南相馬市	57,000	エル白河	白河市	25,000
わいわい作業所	いわき市	57,000	こころや	泉崎村	25,000

※ 義援金総額と配分金の差額20,000円は振興会負担



(ビーンズ郡所長)



(ほっと悠 鈴木所長)



(エル白河 新井所長)

全国から授産品の販売支援協力

東日本大震災に続く原発事故の風評被害が広まる中、全国の福祉団体等から本県の授産品の販売協力の申し出が相次ぎました。各施設との連絡調整から始まり、商品リストの送付、商品発注・発送業務で多忙を極め、うれしい悲鳴を上げています。今後も支援の継続や新たな支援の申し出もあり全国の仲間たちに感謝です。



(京都の販売会)



(静岡の販売会)



(富山の販売会)

施

設

紹

介

障がい福祉サービス事業所 コパン

(会津若松市)



社会福祉法人心愛会では「高齢者、子ども、障がいのある方誰もが、ありのままにその人らしく、地域で暮らすことができる地域社会を実現する。」という組織価値観の基、平成19年5月に「障がい福祉サービス事業所コパン」が開所いたしました。コパンとはフランス語で「パンと一緒に食べる仲間たち」という意味です。就労移行支援事業・就労継続支援事業B型・生活介護事業・児童デイサービス事業の4事業を運営しております

多機能型事業所です。

就労継続支援事業B型では、「ベーカリーカフェコパン」での喫茶業務、パンの製造販売、農作業と園芸作業、食品加工という4つの作業をご利用の方のご希望で取り組んでいただいています。コパンでは、厳選した安心な食材を使用した50種類以上のパン、ラスク、クッキー、スコーンを製造し、コーヒーや紅茶、季節のジュース等と一緒に、お客様に提供させていただいています。また、生活介護事業の生産活動ではコパンデザインのオンリーワンエコバックを製作販売しています。生成り生地とジーンズ生地の2種類を製作し、大変好評をいただいている商品です。

「自分らしくかがやくために」ご利用の方でも職員もがんばっています。皆さま、是非お越しください。



指定多機能型事業所 ファーム樫の木

(福島市)



ファーム樫の木は今年の4月にオープンしたばかりの多機能型事業所です。生活介護・就労継続支援B型と日中一時支援事業を行っております。

障がいを持った方が、それぞれの個性を活かし何が自分に合う作業かを体験し、見つけ出しいきいきとした毎日が送れますように、支援いたしております。



農作業や廃材利用の木工パズル作り、手芸等それぞれのペースで取り組んでおります。

また、社会生活やコミュニケーションが円滑にできるような訓練とご家族の方の就労のお手伝いの為に日中一時支援事業も行っております。

いずれも、通所困難な方のご希望により送迎も行っております。(ガソリン代として実費いただきます。)

郊外の大自然に囲まれた施設に是非いらしてみてください。お待ちしております。



たんぽぽ作業所

(いわき市)



皆さんお元気ですか。私たちは「たんぽぽ作業所」です。一般の人たちとの心の交流を図る目的で、平成13年4月に開所しました。現在スタッフ3名、利用者6名。飲食業と菓子製造業の許可を受け、「餅処たんぽぽ」を運営しています。下ごしらえ準備、接客、調理補助、洗い片づけなどが主な作業です。本施設はバリアフリーで、客席は24席。目前に四季折々の山々が眺められます。自慢の商品は、庄内産だだちゃ豆を使用した「ずんだもち」です。お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りくださいね・・・



スタッフ・利用者みなさんです。



日当たりと眺めの良い客席です。



売れ筋NO1のずんだもちです。

特定非営利活動法人 ドリームハウス^{とむとむ}富夢富夢

(喜多方市)



富夢富夢は小規模作業所、地域支援センターを経て、平成23年4月1日に新しい建物とともに利用者が自立した日常生活・社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供するとともに、生産活動等を通じて、知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行うことを目的として障がい者福祉サービス事業就労継続支援B型事業所として新たに開所いたしました。

作業内容は自主製品として織り物製品、牛乳パックでの再生紙作りがあります。委託作業としては民芸品の下塗り、ふきんたたみ、シール貼り、袋詰め等です。その他、園外作業として清掃作業をしています。中でも織り物製品(ショール・マフラー)は二つとして同じものが作れず、一点物として売れ行き好調です。常に新商品を考えることは大変ですが・・・利用者の皆さんも織り機に座ればもくもくと作業をしています。

また、地域の皆さんとお茶を飲んだり、カレーを作って食べたり、リサイクル活動も積極的に行っています。「元気に、明るく、笑顔で」を目標に和気藹々と毎日頑張っています。

「玄関はいつでも開いています！」どうぞお近くにお越しの祭は是非お立ち寄り頂けたら、うれしく思います。笑顔いっぱいに見えることをお約束いたします！



特定非営利活動法人 ワークショップあいあい

(いわき市)



「古着はおまかせ下さい」

みなさんこんにちは

皆さんは使い終わった古着をゴミとして捨ててはいませんか？そうであれば、とてももったいないことです。

古着を再び蘇えらせ、役立つウエス製品として世の中に送り出す、そうした仕事をしているのが、私たちの事業所「特定非営利活動法人ワークショップあいあい（就労継続支援B）」です。

市民の皆さんが指定場所に出して下さる古着は、ボランティアの方が回収し集積所に運びます。あいあいの利用者と職員がその場に赴き、Tシャツ、Yシャツ、ブラウス、シーツ等、綿素材の多い物を選別して持ち帰ります。利用者が各々の役割を分担しながら、素材仕分け、ボタン取り、裁断、計量、結束の工程を行い、心をこめてウエスを製品に仕上げます。また即配達をモットーに、利用者自ら配達に参加し地域の鉄工所、自動車修理工場、精密機器社等に届けています。“ありがとう”の嬉しい感謝の言葉をいただけるのが何よりの喜びです。

ふれあい、語りあい、助けあい、学びあい「ワークショップあいあい」にはたくさんの「あい」があります。その中から生まれた「夢」を形に、そしてたくさんの“ありがとう”がいただけるよう、笑顔で元気に進んでいきたいと思ひます。

*古着・ウエスのことは下記へどうぞ。

■ TEL 0246 - 52 - 2522

■ FAX 0246 - 88 - 6101



(ウエスたたみ)



(ウエス裁断)



(ウエス製品の完成)

情報コーナー

◎平成23年度授産施設新製品（商品）開発コンクール及び授産施設関係職員等研修会について

平成24年2月4日（土）～5日（日）に飯坂ホテル聚楽（福島市飯坂町）において開催します。コンクールの応募と研修会の参加をお待ちしております。

◎経営改善ワークショップ、個別経営相談を希望される事業所は、相談枠にまだ余裕がありますので是非申込みください。

編集後記

3月11日の大震災とそれに続く原発事故は当会員施設にも大きな傷跡を残しました。特に、放射能の風評被害は食品のみならず思いもよらないものまで全てに影響を及ぼしています。そんな中で、北海道から沖縄まで全国から販売支援の温かい手が差し伸べられております。勇気づけられると同時に、この感謝の気持ちをいつか形にして全国にお返ししなければと思っています。

広報部会